

歯周病と糖尿病

日本糖尿病学会 糖尿病診療ガイドライン2019
日本歯周病学会 糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン2014



村松歯科医院
MURAMATSU DENTAL CLINIC

歯周病とはどのような疾患ですか？

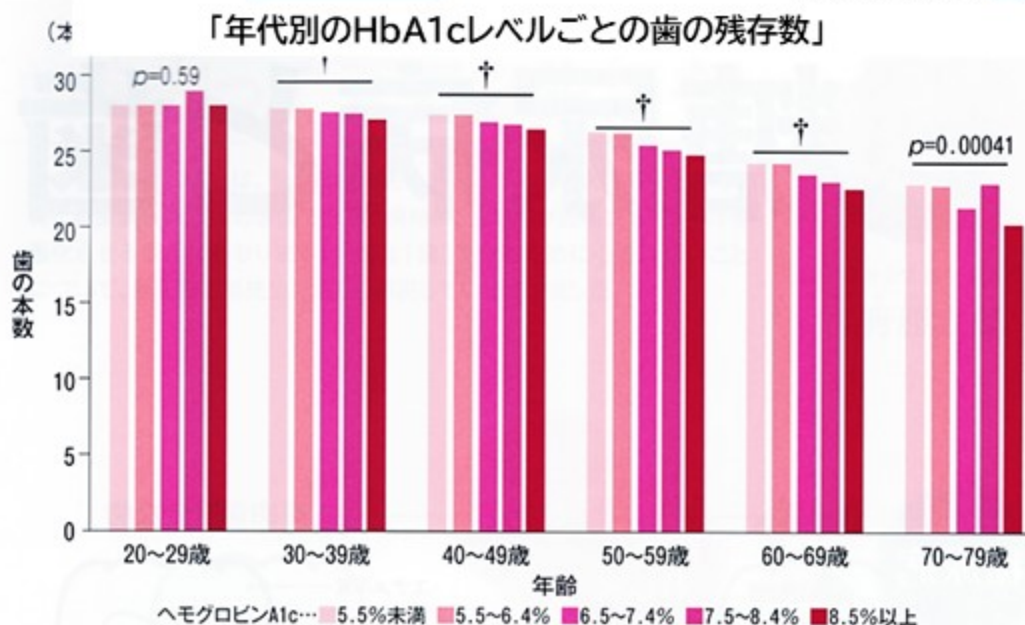
- 歯周病は**プラーク性細菌を原因とする炎症性疾患**で、炎症が歯肉に局限される**歯肉炎**と、**歯槽骨破壊**によって支持組織の喪失を伴う**歯周炎**に大別されます。
- 歯周病は日本人中高年において**約80%**で罹患が認められており、**抜歯の主要な原因**となる口腔内疾患です。
- 歯周治療では、患者本人の**プラークコントロールの確立**に加え、歯周ポケット内の**プラークや歯石を取り除く原因除去治療**で炎症の改善を図り、除去後も再発予防のために**定期的なメンテナンス**が必要とされます。



糖尿病は歯周病の発症や進行に影響を及ぼしますか？

- 1型糖尿病患者では若年者の健康者に比べて**歯周病の発症率が高い**です。
- 2型糖尿病では**HbA1cが6.5%以上**になると、歯周炎の発症や、歯槽骨吸収の進行の**リスクが高い**です。(※ヘモグロビンエーワンシー)

日本糖尿病学会
糖尿病診療ガイドライン2019より



30歳代以上の各年代でヘモグロビンA1cや空腹時血糖値が高い群ほど歯の本数が少ないという連続的な関係性が示されました。

歯周病を放置すると糖尿病になりやすいですか？

- 重度の歯周病を放置すると、**糖尿病が発症する**、あるいは**対糖能異常を生じる**可能性があります。

歯周病は血糖コントロールを悪化させますか？

- 重度の歯周病を放置すると**HbA1cが悪化する**可能性があります。

歯周病を放置すると心血管病変や腎症などの糖尿病の合併症にかかりやすい、あるいはこれらを悪化させますか？

- 重症の歯周病はインスリン抵抗性を介して、あるいは炎症を介して糖尿病患者における**心血管病変あるいは腎症の発症や進行に影響を与える**可能性があります。

日本歯周病学会
糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン2014より

「糖尿病連携手帳」をお持ちですか？



歯科	
施設	
歯科医師	
検査日	/ /
歯周病	なし・軽・中・重
口腔清掃	良・普通・不十分
出血	なし・時々・あり
口腔乾燥	なし・あり
咀嚼力	問題なし・問題有り
現在歯	() 歯
インプラント	なし・あり
義歯・ブリッジ	なし・あり
所見の変化	改善・なし・悪化
次回受診	ヶ月後
備考	

お持ちの方は、歯科の記載欄に記入いたします。担当医に定期的にご提示ください。
お持ちでない方は、当院にてお渡ししますのでご相談ください。

「日本糖尿病協会 登録歯科医制度」をご存じですか？

日本歯科医師会と日本糖尿病協会は、「日本糖尿病協会 登録歯科医制度」により、医科歯科連携を行い、患者さんの糖尿病・歯周病の予防・治療に努めています。登録できるのは、糖尿病患者の歯科治療経験がある方、歯周病治療を積極的に実施している方で、日本歯科医師会および日本糖尿病協会の両会会員である歯科医師です。当院の歯科医師は登録歯科医制度に登録しております。

「歯周病予防のために歯垢を除去するポイント」

「歯間部の歯周プラーク(歯垢)除去率」

